

中学校3年生生徒の保護者の皆様

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

### 平成29年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月19日（水）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年8月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも9月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち生徒が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から生徒への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行わないとの考えが示されました。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

また、個人票（結果）につきましても、本日、配付しましたので御覧願います。

なお、「平成29年度全国学力・学習状況調査の調査結果」につきましては、苫小牧市立青翔中学校ホームページに掲載しております。

[\(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/\)](http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/)

### 記

#### 1 調査の概要

(1) 実施日 平成29年4月19日（水）

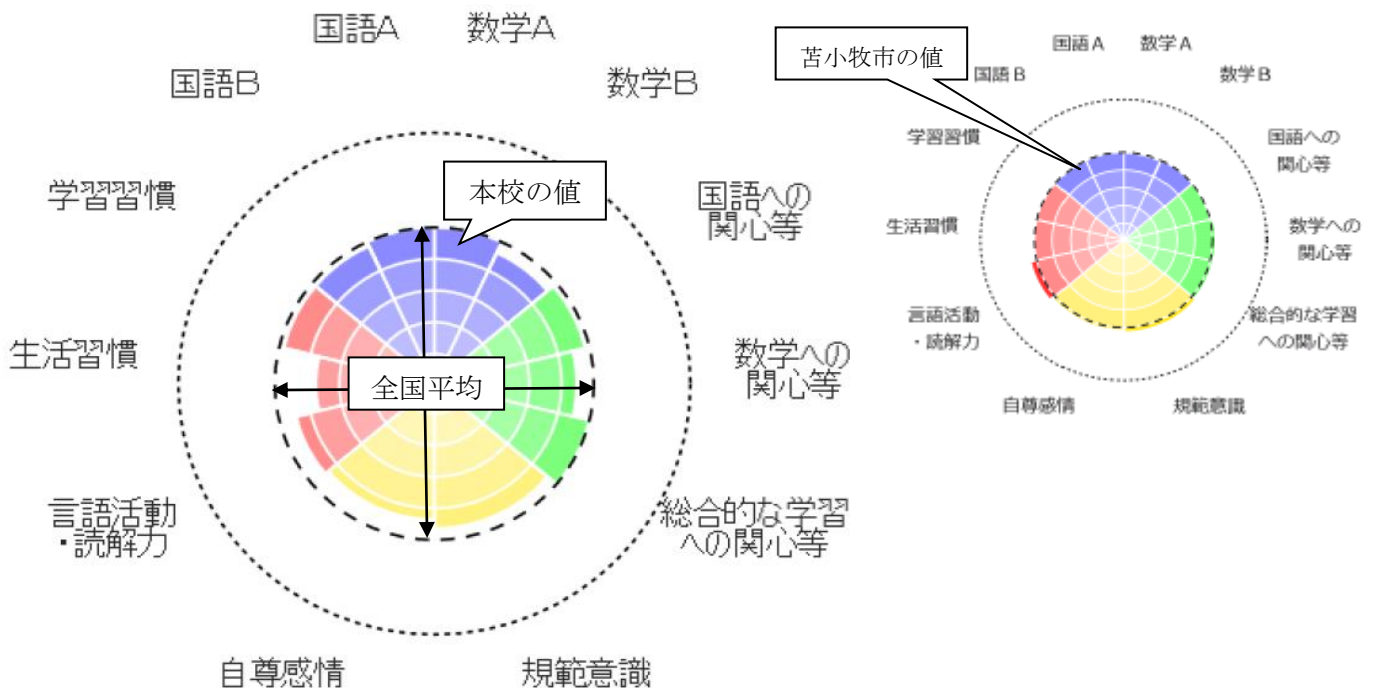
(2) 調査対象 中学校3学年（啓北中学校山なみ分校を除く市内中学校で実施）

(3) 調査事項

- ① 教科に関する調査は、国語、数学の2教科が出題され、主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関するB問題が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する生徒質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

#### 2 本校の結果と考察

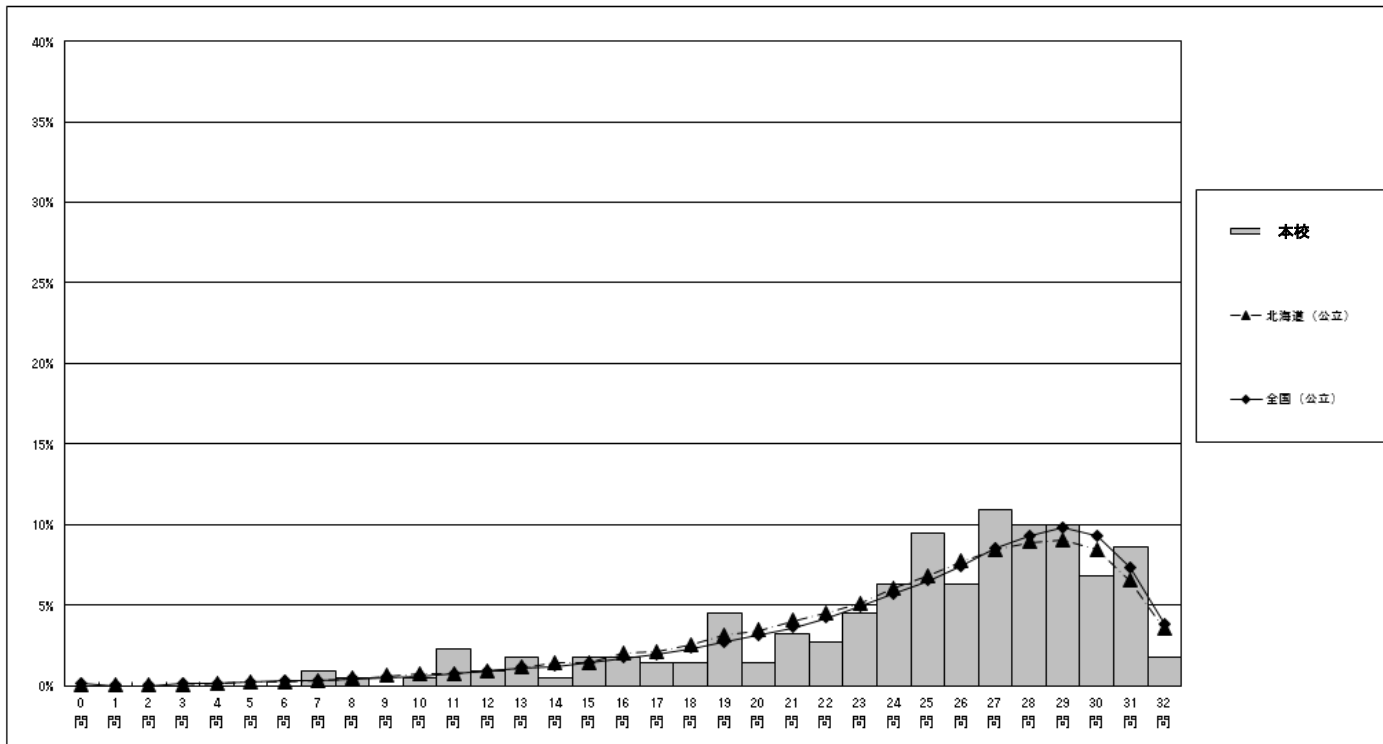
(1) 全国平均と本校の比較



平成29年度全国学力・学習状況調査

調査結果概要【国語A：主として知識】苦小牧市立青翔中学校

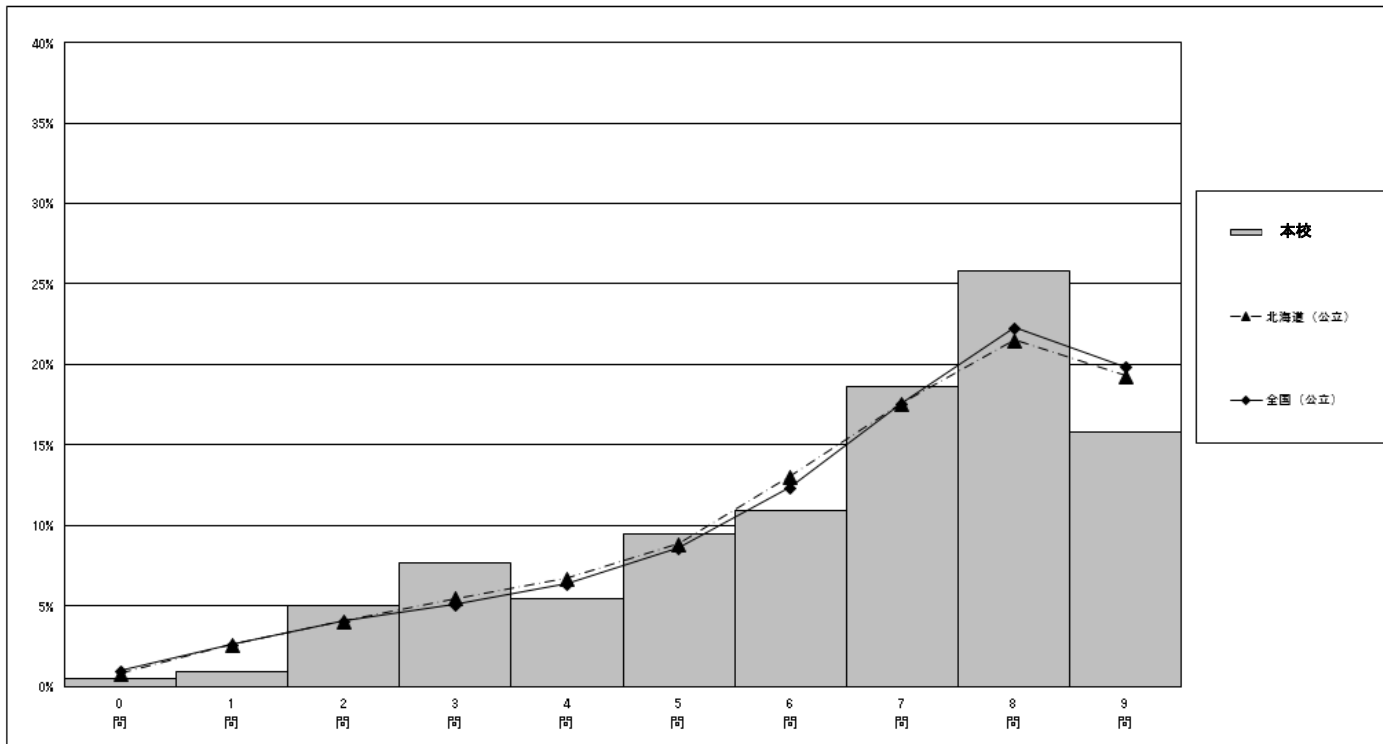
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



平成29年度全国学力・学習状況調査

調査結果概要【国語B：主として活用】苦小牧市立青翔中学校

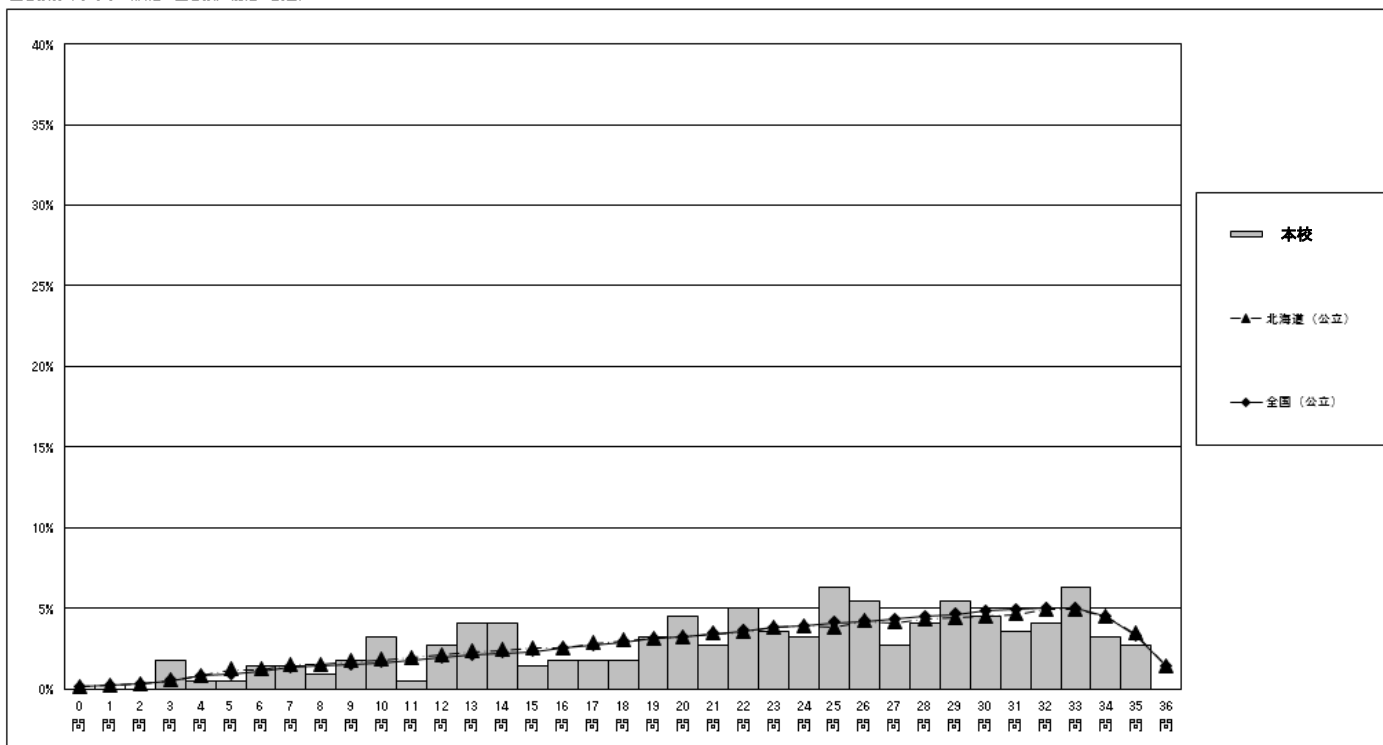
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



平成29年度全国学力・学習状況調査

調査結果概要【数学A：主として知識】 苫小牧市立青翔中学校

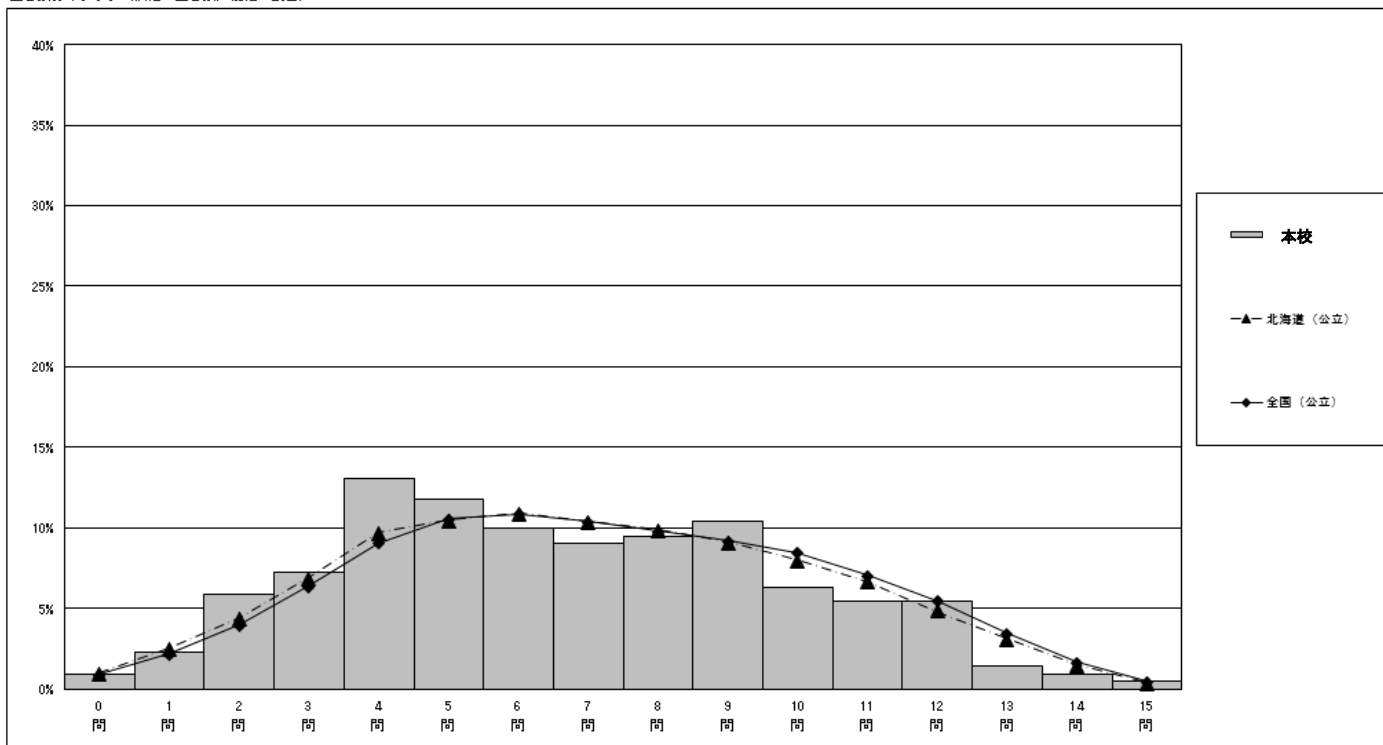
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



平成29年度全国学力・学習状況調査

調査結果概要【数学B：主として活用】 苫小牧市立青翔中学校

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



## (2) 国語科

### 国語A

- ・国語Aにおいては、平均正答率が全国平均とほぼ同等である。
- ・国語Aの正答数の分布では、全国平均に比べほぼ同等の傾向が見られる。
- ・国語Aの平均無解答率は、全国平均とほぼ同等である。
- ・『読むこと』領域の平均正答率は、全国平均をやや上回り、『話すこと・聞くこと』『書くこと』領域の平均正答率は、全国平均とほぼ同等である。また、『伝統的な言語文化等』領域の平均正答率は全国平均をやや下回っている。
- ・『話すこと・聞くこと』領域の「相手に分かりやすいように語句を選択して話す」設問、『読むこと』領域の「文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする」設問において、平均正答率が全国平均を大きく上回っている。
- ・『伝統的な言語文化等』領域の「古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える」設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っている。また、『伝統的な言語文化等』領域の「文脈に即して漢字を正しく書く」「楷書と行書の違いを理解する」設問において、平均正答率が全国平均を大幅に下回っている。

### 国語B

- ・国語Bにおいては、平均正答率が全国平均とほぼ同等である。
- ・国語Bの正答数の分布では、全国平均に比べほぼ同等の傾向が見られる。
- ・国語Bの平均無解答率は、全国平均をやや上回っている。(無解答が多い。)
- ・『話すこと・聞くこと』領域の平均正答率は、全国平均を上回り、『読むこと』領域の平均正答率は、全国平均とほぼ同等である。また、『書くこと』『伝統的な言語文化等』領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。
- ・『話すこと・聞くこと』領域の「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」設問、『書くこと』領域の「集めた材料を整理して文章を構成する」設問、『読むこと』領域の「目的に応じて必要な情報を読み取る」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・『書くこと』領域の「必要な情報を集めるための見通しをもつ」(記述式)設問において、平均正答率が全国平均を大幅に下回っている。

## (3) 数学科

### 数学A

- ・数学Aにおいては、平均正答率が全国平均をやや下回っている。
- ・数学Aの正答数の分布では、全国平均に比べほぼ同等の傾向が見られる。
- ・数学Aの平均無解答率は、全国平均とほぼ同等である。
- ・『数と式』『図形』領域の平均正答率は、全国平均をやや下回り、『関数』『資料の活用』領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。
- ・『数と式』領域の「二元一次方程式の解の意味を理解している」設問、『関数』領域の「与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・『関数』領域の「与えられた比例のグラフから、 $x$ と $y$ の関数を $y=ax$ の式で表すことができる」設問、『資料の活用』領域の「範囲の意味を理解している」設問において、平均正答率が全国平均を大幅に下回っている。

### 数学B

- ・数学Bにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・数学Bの正答数の分布では、全国平均に比べ中から下位層がやや厚い傾向が見られる。
- ・数学Bの平均無解答率は、全国平均を上回っている。(無解答が多い。)
- ・『関数』領域の平均正答率は、全国平均をやや下回り、『数と式』『資料の活用』領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。また、『図形』領域の平均正答率は、全国平均を大きく下回っている。
- ・『図形』領域の「事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる」設問、『関数』領域の「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる」設問、『資料の活用』領域の「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる」(記述式)設問において、平均正答率が全国平均をやや上回っている。

- ・『図形』領域の「与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる」「筋道を立てて考え、証明することができる」（記述式）設問、『資料の活用』領域の「与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる」設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っている。

#### (4) 生徒質問紙

##### 学校生活

- ・「先生は、自分のよいところを認めてくれる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解してないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- ・「学校で、友達に会うのは楽しい」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。
- ・「好きな授業がある」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。

##### 【国語】

- ・「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- ・「読書は好き」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- ・「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや上回っている。
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「国語の勉強は大切」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。
- ・「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。

##### 【数学】

- ・「数学の授業の内容はよく分かる」「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「数学の勉強は大切」「数学ができるようになりたい」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「数学の勉強は好き」「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。

##### 【総合的な学習の時間】

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。

##### 【授業全般】

- ・「1、2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた」「1、2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に上回っている。
- ・「1、2年生のときに受けた授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていた」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- ・「1、2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりす

る活動に取り組んでいた」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。

- ・「1、2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、先生から示された課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」「1、2年生のときに受けた授業では、生徒間で話し合う活動をよく行っていた」「1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。
- ・「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。(難しいと感じている生徒が少ない。)
- ・「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。

## 家庭生活

- ・「毎日、朝食を食べている」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「毎日、同じ時刻に起きている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「毎日、同じ時刻に寝ている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。
- ・「携帯電話やスマホの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「TVを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「平日、TV・DVD等を2時間以上、見たり聞いたりする」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。(TV・DVD等を、見たり聞いたりする時間が長い傾向がある。)
- ・「平日、TVゲーム(スマホ等を含む)を2時間以上する」「平日、携帯電話・スマートフォンを2時間以上する」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に上回っている。(TVゲーム、携帯電話・スマートフォンをする時間が長い傾向がある。)
- ・「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に上回っている。
- ・「平日、家庭学習を1時間以上する」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、学校の宿題をしている」「家で、学校の授業の予習をしている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「休みの日、家庭学習を1時間以上する」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「平日、読書を30分以上する」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「学校図書館や地域の図書館を月に1回以上利用する」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。
- ・「家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがある」「家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- ・「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。

## 自己肯定感

- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最

後まで聞くことができる」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや上回っている。

- ・「友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である」「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」「授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。

#### **道徳的価値観**

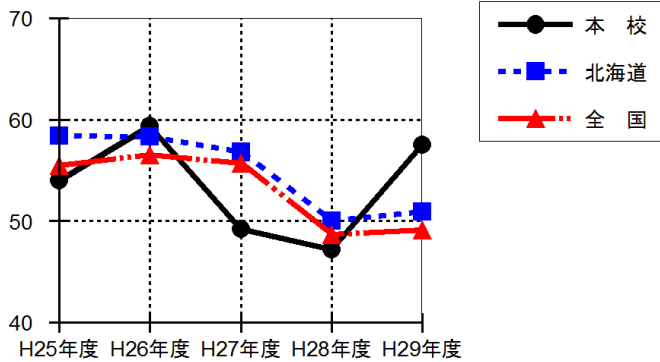
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した生徒の割合は、全国平均をやや上回っている。
- ・「友達との約束を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「学校の規則を守っている」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「人が困っているときは、進んで助ける」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。

#### **社会や地域への関心**

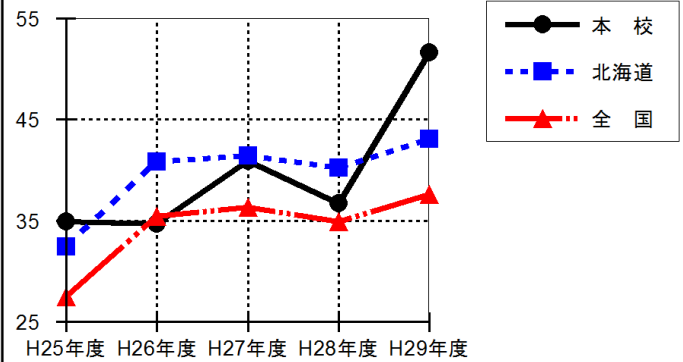
- ・「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
- ・「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事についてみたい」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- ・『「新聞をほぼ毎日読んでいる」または、『週に1～3回程度読んでいる』』「テレビやインターネットのニュースを見る」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同等である。
- ・「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりする」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしたい」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく下回っている。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に下回っている。

# 全国学力・学習状況調査【生徒質問紙】H25年度～H29年度

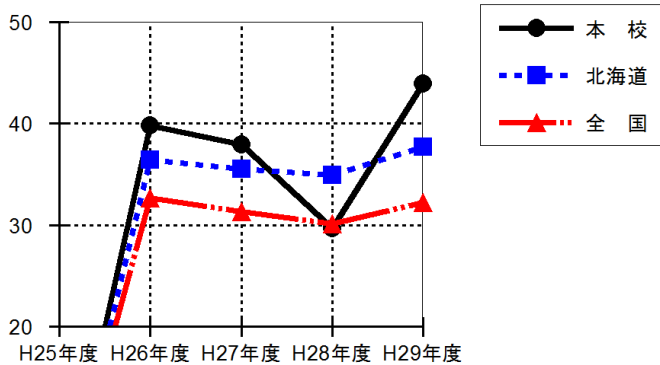
平日、TV・DVD等をどれくらい見たり、聞いたりするか。  
 - 「2時間以上」と回答した割合 -



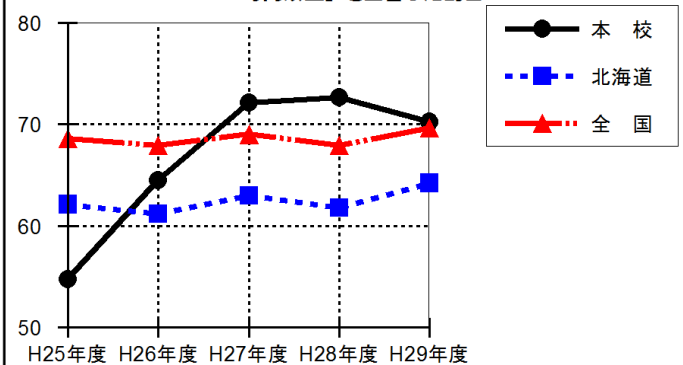
平日、TVゲーム（スマホ等も含む）をどれくらいするか。  
 - 「2時間以上」と回答した割合 -



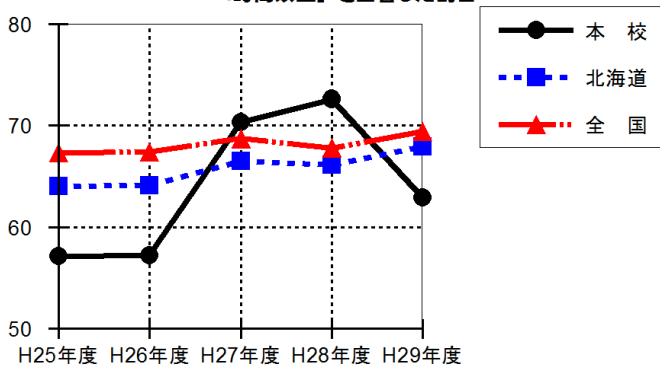
平日、携帯電話・スマートフォンをどれくらいするか。  
 - 「2時間以上」と回答した割合 -



平日、どれくらい家庭学習（塾等を含む）をするか。  
 - 「1時間以上」と回答した割合 -



休みの日、どれくらい家庭学習（塾等を含む）をするか。  
 - 「1時間以上」と回答した割合 -



とまごまわり 学びの3か条

- ① ゲーム・スマホ8時でセーブ / めざせ! 35000/Mスター
- ② 3つの習でレベルアップ /
- ③ 学年×10+10(分)でステージクリア /

苫小牧市教育委員会

\*平成25年度は、「平日、携帯電話・スマートフォンをどれくらいするか」の質問項目はありません。



### 3 学校の今後の取組について

#### 国語科

国語Aについては、『伝統的な言語文化等』領域において、全国平均をやや下回っているものの、『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』領域において、全国平均同等以上であることから、概ね良好な状態にある。

喫緊の課題としては、『伝統的な言語文化等』領域の「文脈に即して漢字を書く」設問の『雨で運動会がエンキになる。』のカタカナを漢字に直す問題」で、その正答率が5割程度である。また、同領域の「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」設問の「話し合いの記録として適切な言葉を空欄に入れる問題」、及び「楷書と行書の違いを理解する」設問の「4つの説明文から最も適切なものを選択する問題」で、その正答率が3～4割程度である。

国語Bについては、『話すこと・聞くこと』『読むこと』領域において、全国平均同等以上であり、『書くこと』『伝統的な言語文化等』領域において、全国平均を下回っていることから、課題のある2領域についての具体的な取組が必要である。

喫緊の課題としては、『書くこと』『読むこと』『伝統的な言語文化等』領域に関わる「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」設問の「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを2つの条件にしたがって書く問題」で、その正答率が4割弱である。

#### 【改善策】

- ・日常的な漢字指導の充実に努める。新出の漢字だけでなく、小学校で学習した学年別漢字配当表に示されている漢字を、各教科等で積極的に指導する。また、文章を音読することで読めない漢字や漢字の読み間違いに気付くようにするとともに、辞書を引いて確認する場を意図的に設定する。
- ・多様な語句・語彙指導の工夫に努める。学校生活の中での話し合いなど具体的な場面を想定し、その場の状況に応じた適切な言葉について考える学習活動を実践する。また、各教科等の学習活動において、出会った多様な語句を取り上げて指導する場を設定する。
- ・楷書と行書のそれぞれの特徴を踏まえた指導を工夫する。行書の基礎を学習する段階で、同じ文字の楷書と行書とを比較し、筆順や運筆などの違いについて理解させるとともに、それらを生かして行書で書く学習活動を取り入れる。学校生活において、メモやノート、会議録、掲示物などを書く際に、書く目的や必要に応じて書体を選んで書くなど意識的に書写の学習効果を生かすように指導する。
- ・根拠を明確にして感じたことや考えたことを書く活動を充実させる。比喩や反復などの表現の技法についての知識の定着を図るとともに、文章を読んで心に残った言葉や文、感想などをノートに書き留めておき、それを基にしてペアやグループで交流する学習活動を実践する。

#### 数学科

数学Aについては、『数と式』『図形』領域において、全国平均をやや下回っており、『関数』『資料の活用』領域において、全国平均を下回っていることから、課題のある領域、設問に対する既習事項の確認（学び直し等）の機会を設定する必要がある。

喫緊の課題としては、『図形』領域の「扇形の弧の長さを求めることができる」設問の「半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める問題」で、その正答率が3割弱である。また、『関数』領域の「関数の意味を理解している」設問の「長方形の縦の長さや面積の関係を、『・・・は・・・の関数である』という形で表現する問題」、及び『資料の活用』領域の「範囲の意味を理解している」設問の「反復横とびの記録の範囲を求める問題」で、その正答率が1割～2割程度である。

数学Bについては、『関数』領域において、全国平均をやや下回っており、『数と式』『資料の活用』領域において、全国平均を下回っている。また、『図形』領域において、全国平均を大きく下回っていることから、『図形』領域の強化を柱とした取組が求められる。

喫緊の課題としては、『図形』領域の「2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる」設問の「四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様に重なるとき、どのような回転移動になるか説明する問題」、及び『数と式』領域の「事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」設問の「六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する問題」で、その正答率が1割を切っている。

#### 【改善策】

- ・扇形の弧の長さや面積が中心角の大きさに比例することを用いて、それらを求めることができるようにする。扇形を円の一部として捉え、弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを確認する場を設定する。
- ・様々な事象の考察を通して、関数の意味を理解できるようにする。事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を取り入れる。その際、独立変数と従属変数との違いを意識して

「・・・は・・・の関数である」という形で表現する場面を設定する。

- ・範囲の意味を理解できるようにする。範囲とは、資料の最大値と最小値との差であることを確認した上で、資料の散らばりの程度を捉える活動を取り入れる。
- ・事象の特徴を的確に捉え、数学的に説明できるようにする。前提とそれによって説明される結論の両方を説明する場面を設定する。
- ・事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする。事柄の意味を事象に即して読み取り、読み取った意味に基づいて、根拠を明確にする活動を取り入れる。

## 生徒質問紙

### 【学校生活】

- ・「先生は、自分のよいところを認めてくれる」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じている生徒が多い。今後も、授業中はもとより、補足的な学習の時間や個別相談等の充実に努めていく。
- ・授業中での「学習目標の明示」、「学習内容を振り返る活動の設定」、「ノートへの学習目標とまとめの確実な記載」などにおいて、大変良好な状態にある。このことから、SEISHO STANDARD（共通の授業スタイルの構築）が徹底されつつあることがうかがえる。今年度はSEISHO STANDARD IIとして、継続した取組を進めていく。
- ・授業中の話し合い活動に課題が見られる。自分の考えを深めたり、広げたりするためにも、話し合い活動の設定のみならず、発表のための材料集めや話の組み立て方の指導に力を入れていく。
- ・「みんなで協力することの喜び」を感じている生徒が減少傾向にあることから、学校行事等の内容を精選するとともに、日常的な諸活動の質の向上を図り、達成感や自己肯定感を高めていく。

### 【家庭生活】

- ・携帯電話・スマートフォンの所持率が、本校では87.3%（昨年度80.7%）、全国平均では83.9%（昨年度81.2%）となっており、「携帯電話・スマートフォンの利用時間（平日2時間以上）」が、本校では43.9%（昨年度29.7%）、全国平均では32.2%（昨年度30.1%）である。
- ・「TV・DVD等の視聴時間（平日2時間以上）」が、本校では57.5%（昨年度47.2%）、全国平均では49.1%（昨年度48.7%）である。
- ・「TVゲーム（スマホ等を含む）の実施時間（平日2時間以上）」が、本校では51.6%（昨年度36.7%）、全国平均では37.6%（昨年度34.9%）である。
- ・「携帯電話・スマホの使い方について、家の人と約束したことを守っている」（全国比-2.2%）、「TVを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている」（全国比-8.2%）と回答した生徒の割合は、全国との比較において低い傾向が見られる。

上記4点を踏まえ、「とまこまい学びの3か条」（p.8を参照）を各種通信や懇談会、そして、「子育て研修会」「地域子育て研修会」を通して、積極的に啓発していく。

※ 今年度、「子育て研修会」（H29.10,19）、「地域子育て研修会」（H30.2月）を開催予定。

- ・「学校の授業の復習への取組」は良好な状態にあるが、「計画を立てて学習に取り組む」ことが苦手な生徒が多い傾向にある。また、平日の家庭学習の時間は、全国平均と同程度であるが、休みの日の家庭学習の時間は短い傾向が見られることから、学習カレンダーや家庭学習の手引き等を活用し、家庭学習の時間はもとより、家庭学習の質の向上を目指していく。

### 【自己肯定感・道徳的価値観】

- ・「ものごとを最後までやりきることができる」「友達の話、意見等を最後まで聞くことができる」などの本校の生徒のよさを伸ばすためにも、話し合い活動を充実させるとともに、学級活動等において、互いのよさを認め合う場面を設定するなど、自分の良さに気付くよう仕掛けていく。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」との質問に対し、明確に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大幅に上回っている。この結果からも、本校の「いじめ根絶集会」や日常的な取組の成果がうかがえる。今後も、生徒の自主的な取組の重点化を図り、自己肯定感の向上等にもつなげていく。

### 【社会や地域への関心】

- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある生徒が多い傾向がある。今年度、校務運営組織の中に設置した「地域連携グループ（地域活動局）」の活動を推進する中で、地域との関わりや社会への関心をさらに高めていけるよう取り組んでいく。